

日本の男女格差 世界 121 位



順位	国名	指数
1 (1)	アイスランド	0.877
2 (2)	ノルウェー	0.842
3 (4)	フィンランド	0.832
4 (3)	スウェーデン	0.820
5 (5)	ニカラグア	0.804
6 (7)	ニュージーランド	0.799
7 (9)	アイルランド	0.795
8 (29)	スペイン	0.794
9 (6)	ルワンダ	0.791
10 (14)	ドイツ	0.787
⋮	⋮	⋮
15 (12)	フランス	0.781
⋮	⋮	⋮
21 (15)	イギリス	0.767
⋮	⋮	⋮
53 (51)	アメリカ	0.724
⋮	⋮	⋮
106 (103)	中国	0.676
⋮	⋮	⋮
108 (115)	韓国	0.672
⋮	⋮	⋮
120 (121)	アラブ首長国連邦	0.655
121 (110)	日本	0.652
⋮	⋮	⋮
153 (149)	イエメン	0.494

「世界経済フォーラム」は、2019年版、各国における男女格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数」を発表しています。日本は153カ国中121位と2018年の110位からランクを落とし過去最低となりました。

ジェンダー・ギャップ指数とは、経済・政治・教育・健康の4分野14項目で男女平等の度合いを指数化し順位を決めたもので、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味します。「1」に近づくほど平等で、遠ざかるほど格差が開いていると評価されます。

日本の2019年の4分野の順位(153カ国中)は下記のとおりです。

- 経済…115位 (2018年117位)
 - 政治…144位 (2018年25位)
 - 教育… 91位 (2018年65位)
 - 健康… 40位 (2018年41位)
 - 総合…121位 (2018年110位)
- (注)2018年は149カ国の順位です。



特に政治、経済分野において、男女格差が大きい日本の状況が見えてきます。日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言い難い状況です。日本は、日本の文化や社会の状況等に配慮しつつ、国際的な観念や考え方を踏まえ、世界と協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。

ジェンダー・ギャップ指数(2019年)主な国の順位

(注)カッコ内は2018年順位